

認定こども園 多賀台保育園 自己点検・自己評価

令和7年度

『1』 = たいへん良い
『2』 = 良い
『3』 = 検討・改善を要す

《 教育・保育の計画の編成と実施に関する評価 》

項目	内容	評価			意見・改善策	
		1	2	3		
理念・方針・目標	目標について	(1)目標の「生命尊重」「正しきを見て絶えず進む」「よき社会人をつくる」に取り組んでいる。	○			閉園最終年度となり、職員が少ない中、職員間のコミュニケーションがスムーズにとれており、現状に見合った目標設定が出来た。
		(2)目標は、施設や地域の特色を生かしている。	○			
		(3)目標は、前年度の反省を生かしている。	○			
		(4)目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っている。	○			
	教育・保育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成している。	○			子どもの個性に向き合い、楽しく遊びから学びを得られる工夫が出来た。
		(2)教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っている。	○			
		(3)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している。	○			
		(4)素材・用具を適切に活用している。	○			
		(5)評価結果を基に、保育の改善に努めている。	○			
	日時程	(6)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい。	○			
	行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切である。	○			園児数が少ないため、公共交通機関を利用した遠足や園外保育が可能となり、ごっこではない本当の経験が出来たことを有意義に思う。
		(2)行事の狙いを計画や実施に十分生かしている。	○			
		(3)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。	○			
		(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっている。	○			
		(5)保護者の願いや意見を取り入れている。	○			

《 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価 》

項目	内容	評価			意見・改善策	
		1	2	3		
経営・組織	体制	(1)能率的・合理的な運営組織になっているか。	○			職員数に余裕がなかったため、職員一人一人の負担は大きかったが、互いに助け合うことで乗り切ることができた。
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○			
		(3)職員の配置は適材・適所か。		○		
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○		
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			職員一人一人の意見を聞きながら、皆が納得できるまで話し合い、運営に取り込むことが出来た。
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○			
		(3)打合わせ回数・時間・内容は適切か。	○			
	年齢別・クラス運営	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○			年齢ごとの目標を定めながらも、焦ることなく子ども一人一人の個性と成長にあわせた活動が出来た。
		(2)年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して別設定しているか。	○			
		(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○			
		(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(5)評価・資料(諸記録)を集積しているか。	○			

経営・組織	保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○			手洗いうがい等、見守りながら習慣化出来るよう指導ができた。交通安全教室の開催等により左右確認の大切さを指導できた。保護者との情報交換を密にし、保護者の不安解消への場と出来た。
		(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○			
		(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○			
研究・研修	園内研修・研究	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		職員不足のため園内研修時間を確保することが難しかった。
		(2)所内研修の計画・運営は適切か。		○		
		(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○		
		(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○		
	園外研修・研究	(1)各種研究会・研修会・講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			職員不足ではあったが、参加できる研修には行けるよう皆で助け合うことができた。
		(2)各種研究会・研修会・講習会での内容を所内に研修還元しているか。	○			
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報 を 適正に取り扱っているか。	○			適正に行えている。	
	(2)公文書收受・発送・処理を適切に行っているか。	○				
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			施設の老朽化が進んでいるが、出来る範囲内で良く出来た。	
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3)不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。	○				
	(4)掲示板・掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			出来ている。	
開かれた保育園づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。	○			他施設との職員交流の場を設けたかったが、時間の都合上難しかった。小学校との連携はしっかり出来た。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)開設幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○		
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○			
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○		
	家庭地域社会との連携	(1)参観日・老人ホーム慰問等を行っているか。		○		地域行事には積極的に参加し、運動会では地域の皆さんとの交流ができた。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	○			
		(3)(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○			
	情報の発信	(1)保育園だより・クラス通信・ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○			ホームページや保護者へのメール配信により情報提供を行えた。
		(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設に周知している。		○		
	外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○	第三者評価は導入できていないが、保護者の意見はしっかり聞いた。
		(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。			○	

満1歳以上満3歳未満の園児の保育・自己チェック

【主幹保育教諭】 田村央美

領域	内容	4月～9月 平均			10月～3月 平均			まとめ
		十分援助・指導した	援助・指導した	援助・指導できなかった	十分援助・指導した	援助・指導した	援助・指導できなかった	
健康	①保育者等の愛情豊かな受容の下で、安定感をもって生活する。		2		2		生活リズムを大切に、食事・睡眠・排泄など基本的な生活習慣の形成を丁寧に支援することを心掛けた。トイレでの排泄ができるように夏ごろから始めたことで余裕をもって取り組むことができた。 生活の面では、衣服の着脱の際には焦らずじっくり関わり、声がけをしながら褒めたり適切な援助により向上した。 個々の発達や体調に配慮しながら安心して過ごせる環境づくりを意識したことで子どもが自分でやろうとする気持ちが育まれた。食事の面では苦手食材は小さくカットしてもらったり、絵本読みや畑づくりから野菜に関わったことで苦手を克服でき、みんなが楽しく食事できる環境が広がり野菜を好きな子が増え、食事量も増えた。	
	②食事や午睡、遊びと休息など、園生活のリズムが形成される。	1	1		1	1		
	③走る、飛ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを楽しむ。	1	1		1	1		
	④様々な食品や調理形態に慣れ、ゆったりとした雰囲気の中で食事や間食を楽しむ。	2			2			
	⑤身の回りを清潔に保つ心地よさを感じ、その習慣が少しずつ身に付く。		2		1	1		
	⑥保育者等の助けを借りながら、衣類の着脱を自分でしようとする。	1	1		1	1		
	⑦便器での排泄に慣れ、自分で排泄ができるようになる。		2		1	1		
人間関係	①保育者等や周囲の子ども等との安定した関係の中で、共に過ごす心地よさを感じる。		2		2		保育者との信頼関係を基盤に、安心して気持ちを表現できる環境を整えてきた。友だちへの関心が芽生え一緒に遊ぶ姿や簡単なやり取りが見られるようになってきた。トラブル時にはその都度子どもの思いを受け止めながら仲立ちを行い人との関わりを楽しさを感じられるように支援を続けた。 異年齢交流の際は上の子は下の子のお世話をし、下の子は上の子の真似をして遊びが発展するように援助したことでそれぞれに相互作用が見られた為に異年齢交流を取り入れて良かった。	
	②保育者等の受容的・応答的な関わりの中で、欲求を適切に満たし、安定感をもって過ごす。	1	1		1	1		
	③身の回りに様々な人がいることに気付き、徐々に他の子どもと関わりをもって遊ぶ。		2		2			
	④保育者等の仲立ちにより、他の子どもとの関わり方を少しずつ身につける。		2		2			
	⑤園生活の仕方に慣れ、きまりがあることや、その大切さに気付く。	1	1		1	1		
	⑥生活や遊びの中で、年長児や保育者等の真似をしたり、ごっこ遊びを楽しんだりする。		2		2			
環境	①安全で活動しやすい環境での探索活動等を通して、見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の働きを豊かにする。		2		2		身近な自然や遊具、玩具に触れながら、探索活動や模倣遊びを楽しめる環境を整えてきた。その結果、季節ならではの体験を通してより興味・関心が広がった。合わせて安全な範囲で自由に遊べるように見守り環境設定する際も自主的に選択できる環境を心掛けた。 絵本は子ども達が自分で手に取りやすい場所に配置するように工夫した。更に絵本の選書に配慮し、年齢別に楽しめるようにした結果興味を持つ子が増え、集中して絵本を見るようになった。また語彙力にもつながった。	
	②玩具、絵本、遊具などに興味をもち、それらを使った遊びを楽しむ。		2		2			
	③身の回りの物に触れる中で、形、色、大きさ、量などの物の性質や仕組みに気付く。		2		2			
	④自分の物と人の物の区別や、場地的感覚など、環境を捉える感覚が育つ。		2		2			
	⑤身近な生き物に気付き、親しみをもつ。	1	1		1	1		
	⑥近隣の生活や季節の行事などに興味や関心をもつ。		1	1	1	1		
言葉	①保育者等の応答的な関わりや話しかけにより、自ら言葉を使おうとする。	1	1		1	1	保育者が丁寧に語りかけることで、子どもが言葉で思いを表そうとする姿が見られた。絵本の読み聞かせやわらべうた、日常の会話を通して言葉への興味を育む関わりを行った。今後も子どもの発語や表現を受け止めながら、言葉のやり取りを楽しめる工夫をしていきたい。また、紙芝居や絵本を模倣する姿から、お遊戯会の劇遊びに発展させ、普段の生活を見て頂く事を目的とし無理なく発表できた事が良かった。	
	②生活に必要な簡単な言葉に気付き、聞き分ける。	1	1		1	1		
	③親しみをもって日常の挨拶に応じる。	1	1		1	1		
	④絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣をしたりして遊ぶ。	1	1		1	1		
	⑤保育者とごっこ遊びをする中で、言葉のやり取りを楽しむ。	2			2			
	⑥保育者等を仲立ちとして、生活や遊びの中で友達との言葉のやり取りを楽しむ。		2		1	1		
	⑦保育者等や友達の言葉や話に興味や関心をもって、聞いた、話したりする。	1	1		2			
表現	①水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。		2		2		歌や手遊びリズム遊び描画などを通して体や感覚を使った表現活動を楽しむ姿が見られた。子どもの自由な表現を尊重し安心して自己表現できる雰囲気づくりを大切に。上手く歌うよりも楽しい時間を過ごせるように個人を尊重した結果、みんな歌が好きになり、声を自然と出せるようになった点が良かったと思う。	
	②音楽、リズムやそれに合わせた体の動きを楽しむ。		2		2			
	③生活の中で様々な音、形、色、手触り、動き、味、香りなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。		1	1	1	1		
	④歌を歌ったり、簡単な手遊びや全身を使う遊びを楽しんだりする。	2			2			
	⑤保育者等からの話や、生活や遊びの中での出来事を通して、イメージを豊かにする。		2		2			
	⑥生活や遊びの中で、興味のあることや経験したことなどを自分なりに表現する。		2		2			

満3歳以上の園児の保育・自己チェック

【主幹保育教諭】 田村央美

領域	内容	4月～9月 平均			10月～3月 平均			まとめ
		十分援助・指導した	援助・指導した	援助・指導できなかった	十分援助・指導した	援助・指導した	援助・指導できなかった	
健康	①保育者や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。		3		3			戸外遊びや運動遊びを取り入れながら、体を十分に動かして遊ぶ機会を大切にしてきた。散歩に出かける機会が少なかったが天候を見ながらできるだけ戸外遊びを取り入れた。生活リズムが整うように基本的な生活習慣の定着を目指し声かけたことが良かったと思う。体を動かすことが苦手な子どもいるので多様な環境づくりが必要だと感じた。 衣服の着脱の大切さを教え、汗をかく前に半袖に着替えたり、寒いと感じる時は長袖になるように指導した結果、自ら衣服の調節をする子が増えた。
	②いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。		2	1	2	1		
	③進んで戸外で遊ぶ。		3		3			
	④様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。	1	2		1	2		
	⑤保育者や友達と食べる事を楽しみ、食べ物への興味や関心をもつ。		3		3			
	⑥健康な生活のリズムを身につける。		3		3			
	⑦身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。		3		3			
	⑧園生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動する。		3		3			
	⑨自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。		3		3			
	⑩危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。		3		3			
人間関係	①保育者や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。	1	2		1	2		友だちとの関わりの中で思いやりの気持ちが育つように、一緒に遊ぶ経験を繰り返し、楽しさを感じてもらおうように取り組んだ。更に自分の気持ちを伝えられるように、みんなの前で話す機会を作ったり思いに気づけるように援助した。また、自分の作品をみんなに披露する場を設け、自ら説明することで相手の思いに気づけたと思う。生活の決まり事や活動目的に対して友達同士で教え合ったり、協力をする事で、相手を思いやる心を育てることができた。
	②自分で考え、自分で行動する。		3		3			
	③自分でできることは自分でする。		3		3			
	④いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ。		3		3			
	⑤友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共感し合う。		3		3			
	⑥自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。		3		3			
	⑦友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。		3		3			
	⑧友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。		3		3			
	⑨よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。		3		3			
	⑩友達との関わりを深め、思いやりをもつ。		2	1	2	1		
	⑪友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気付き、守ろうとする。		3		2	1		
	⑫共同の遊具や用具を大切に、皆で使う。		3		3			
	⑬高齢者をはじめ地域の人々などの自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。		3		3			
環境	①自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。		3		3		遊びを通してひらがなや数字に興味・関心を持つように工夫した。年長組だけでなく年中・年少組にも広がり特に積み木遊びの中で子どもたちが自らひらがなで言葉を並べたり、カルタ遊びに発展するまでになった。保育者と一緒に取り組んだ事が良かったと思う。 園の畑ではイチゴやオクラ、茄子トマトなど収穫まで体験することで食育活動につながったと思う。	
	②生活の中で、様々な物に触れ、その性質や仕組みに興味や関心をもつ。		3		3			
	③季節により自然や人間の生活に変化のあることに気付く。	1	2		1	2		
	④自然などの身近な事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ。		3		3			
	⑤身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする。		3		3			
	⑥日常生活の中で、我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむ。		2	1	2	1		
	⑦身近な物を大切ににする。		3		3			
	⑧身近な物や遊具に興味をもって関わり、自分なりに比べたり、関連付けたりしながら考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。		3		3			
	⑨日常生活の中で数量や図形などに関心をもつ。		3		3			
	⑩日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心をもつ。		3		3			
	⑪生活に関係の深い情報や施設などに興味や関心をもつ。		2	1	2	1		
言葉	①保育者や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したりする。		3		3		正しい言葉を意識して、間違った言葉はさりげなく指導を続けた。発音が気になる子どもいたが口の動きを意識させ指導した結果発音が上手くなり改善が見られた。 紙芝居や絵本の読み聞かせの後には自分の思いを言葉で伝えたり登場人物の名前を確認することで発語が増えた。	
	②したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現する。		3		3			
	③したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。	1	2		1	2		
	④人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。		3		3			
	⑤生活の中で必要な言葉が分かり、使う。	1	2		1	2		
	⑥親しみをもって日常の挨拶をする。	1	2		1	2		
	⑦生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付く。		3		3			
	⑧いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。		3		3			
	⑨絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう。	1	2		1	2		
	⑩日常生活の中で、文字などで伝える楽しさを味わう。		3		3			
表現	①生活の中で様々な音、形、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ。		3		3		好きなキャラクターの色塗りを用意したり写し絵など工夫したことで興味・関心を持つ子が増えた。色彩感覚が増し絵手紙などのコンクールでも入賞者があり、成果が見られた。 歌うことが苦手な子が多く声を出さず子が少なかったが根気よく指導し、声を少し出せるようになり、褒めることで自信が持てるようになり自己肯定感が高まったと思う。	
	②生活の中で美しい物や心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする。		3		3			
	③様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。		3		3			
	④感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりなどする。	1	2		1	2		
	⑤いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。		3		1	2		
	⑥音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。	1	2		1	2		
	⑦かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。		3		3			
	⑧自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう。		3		3			